

灯火で採集されたキイロゲンセイ *Zonitis japonica*

大對桂一¹⁾・前田泰生²⁾・宮永龍一¹⁾

Zonitis japonica Attracted to the Streetlamp (Coleoptera, Meloidae)

By Keiichi OTSUI, Yasuo MAETA and Ryoichi MIYANAGA

Abstract *Zonitis japonica* was a common meloid beetle, but it was seldom to collect adults in the field during daytime. However, we observed some adults attracted to the streetlight, suggesting that this species is nocturnal beetle.

Key words: Nocturnal, *Zonitis*.

キイロゲンセイ *Zonitis japonica* PIC はさまざまな分類群のハナバチ類の労働寄生者である (MAETA & SASAKI, 2005). 盛岡市にある東北農業研究センター構内で飼養した寄主であるオオハキリバチ *Megachile sculpturalis* SMITH とヒメハキリバチ *M. spissula* COCKERELL の巣の解体調査によると、育房の加害率が前種では4.7~12.9% (1971~1980年の6年間の調査)、後種では4.1~32.3% (1969~1981年の13年間の調査)であった (MAETA & SASAKI, 2005). このような高い加害率にもかかわらず同構内において成虫が採集されることはなかった。野外での採集はむずかしい。しかし、KIFUNE (1961) は京都においてイヌザンショウの雄花上で群がっていた520個体もの成虫を採集したと報告している。一方、黒沢 (1983) と MAETA & SASAKI (2005) はライトトラップで採集している。また、MAETA & SASAKI (2005) が行った飼育箱での飼育では、1) 歩行と飛翔、2) 交尾、3) 摂食、4) 産卵の諸行動のうち、1) は15:00以降に起こり、17:00~18:00にピークに達してその後日没 (およそ19:30) に向かい終息した。2) と3) も16:00以降に起こり、日没まで継続された。4) も1)~3) と同じ時刻また夜間に行われた。活動していないときは、飼育箱の床、壁、配置した花植物の茎や裏葉で休息をとっていたと報告されている。これらは、本種が夜行性あることを強く示唆している。これを証明する事例として、大對は2013年7月12日に松江市奥谷町で灯火に飛来した1♀を採集している。採集時にほかにも飛来個体を観察している。

引用文献

- KIFUNE, T., 1961. Biological notes on two Japanese species of the genus *Zonitis* FABRICIUS (Coleoptera, Meloidae) (Studies on Meloidae -I). *Mushi*, **35**: 47-65.
- 黒沢良彦, 1983. 原色昆虫図鑑 第II巻 (第9版). p. 262. 北隆館, 東京.
- MAETA, Y. & Y. SASAKI, 2005. Notes on the bionomics of a cleptoparasitic blister beetle, *Zonitis japonica* PIC (Coleoptera, Meloidae). *Chugoku Kontyu*, (18): 23-51.

¹⁾ 鳥根大学生物資源科学部

²⁾ 松江市東津田町2168-218